

令和7年度（2025年度）

学生募集要項

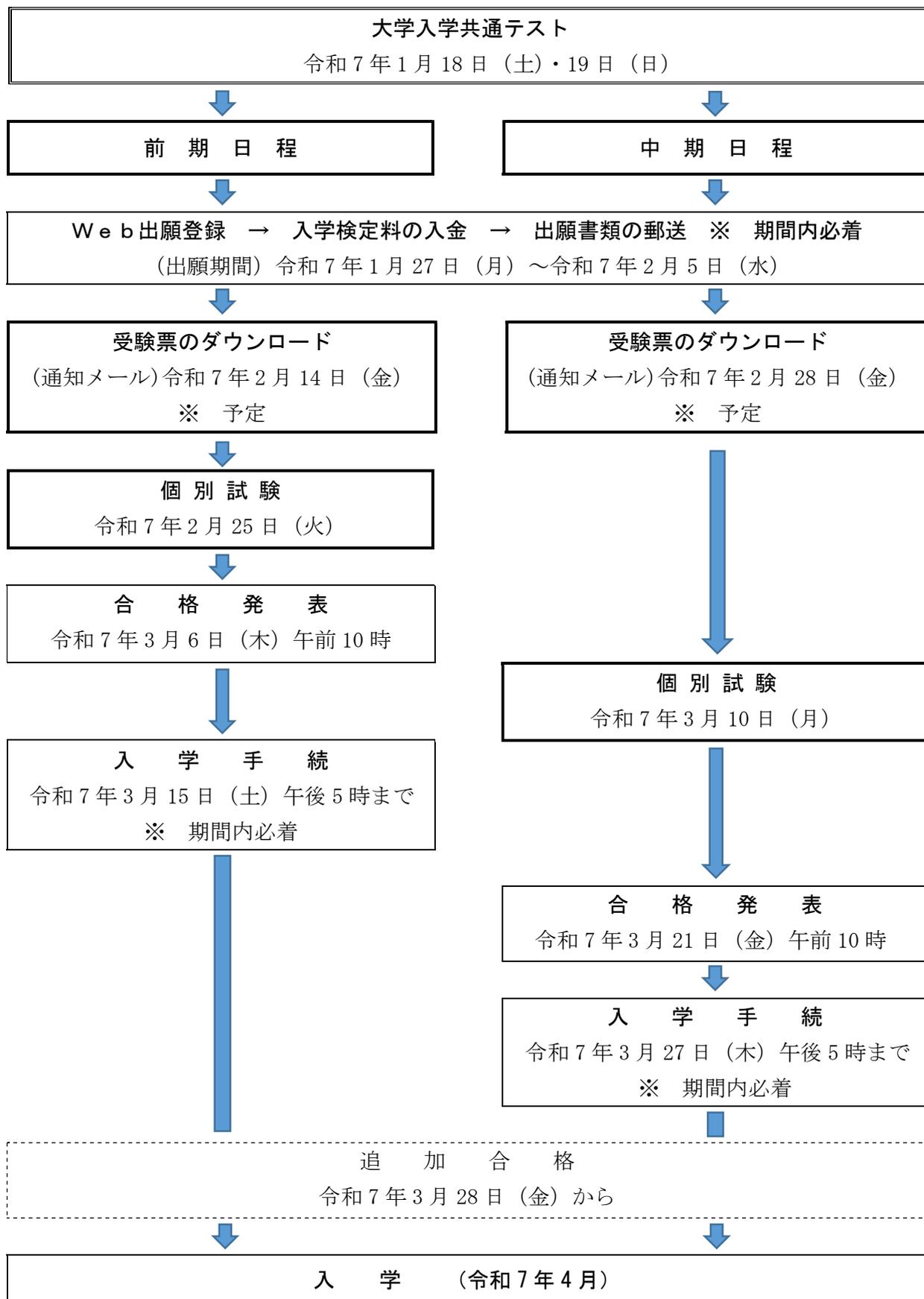


一般選抜

（前期日程・中期日程）

公立小松大学

令和7年度（2025年度）入学者選抜試験日程（一般選抜）



目 次

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 募集人員	9
3. 出願資格	9
4. 試験実施方式等	10
5. 出願手続	11
6. 受験票のダウンロード	17
7. 前期日程	18
(1) 実施教科・科目	18
(2) 採点・評価基準（個別試験）	23
(3) 試験日・試験時間・試験場	23
(4) 合格発表	24
(5) 入学手続	24
(6) 留意事項	24
8. 中期日程	25
(1) 実施教科・科目	25
(2) 採点・評価基準（個別試験）	30
(3) 試験日・試験時間・試験場	30
(4) 合格発表	31
(5) 入学手続	31
(6) 留意事項	31
9. 旧教育課程履修者に対する経過措置について	32
10. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合の事前相談	32
11. 調査書を提出できない者の取扱い	33
12. 欠員補充の方法	34
13. 個人情報の取扱い	34
14. 選抜情報の公表	35
15. 初年度学納金等(予定)	37
16. お問い合わせ先	37
17. 試験場所在地略図	38

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

生産システム科学部生産システム科学科

【求める学生像】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、地域と世界の産業に貢献しようとする次のような学生を求める。

（知識・技能）

1. 数学、物理など、ものづくりの仕組みを理解できる基礎学力を有し、機械、電気、電子、情報に関する知識や仕組みについて高い関心をもつ人

（思考力・判断力・表現力）

2. サステイナブル（持続可能な）社会の実現を目指し、未来の生産システムの構築に強い意欲をもって取り組める人

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

3. 豊かな教養と幅広い人間性を備え、地域社会の持続的発展に誇りと喜びを持って貢献できる人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ諸科目に関する基礎学力

高等学校の教育課程で学ぶ数学と物理の知識は、科学のおよび工学的な視点で現象を理解するために必須である。また、論理的に思考し、実験レポートや報告書を記述するための日本語力、国際的な視野で考え行動するために英語力が重要である。

2. 自ら問題を発見し、問題を解決する習慣

社会における様々な事象について、自ら問題を発掘・発見し、その問題を解決する姿勢や習慣が必要である。そのためには、生涯の自己研鑽が必要で、自ら進んで学ぶ習慣を身につけることが重要である。

3. 他者と連携・協働し、誠実に取り組む姿勢

通常、実験や実習は、複数人のチームで行うため、他者（共同実験者）と連携・協働して行う実践力および誠実に取り組む姿勢を身につけることが重要である。

【入学者選抜の方針】

[一般選抜（前期日程）]

1) 大学入学共通テストでは、5教科（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）6科目を課し、基礎学力を評価する。

2) 個別試験では、数学および理科を課し、理系の基礎学力を確認する。

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、3教科（数学、理科、外国語）4科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、理科を課し、基礎学力を確認する。

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 個人面接によって、数学、理科の基礎的な試問を含む多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由書は、面接試験の参考にする。

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 大学入学共通テストでは、2教科（数学、理科）3科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個人面接によって、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由書は、面接試験の参考にする。

保健医療学部看護学科

【求める学生像】

本学科の設置の目的、教育理念と教育目標に共感し、次に示した 3 つのすべてを併せ持つ学生を求める。

(知識・技能)

1. 看護学として必要とされる専門知識・技術を学ぶための基礎学力を持った人
(思考力・判断力・表現力)
2. 人々の営みや健康問題に関心を持ち、看護師または保健師として地域社会の医療・保健・福祉分野の発展に貢献しようと努力する人
(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
3. 相手の立場に立ち、思いやりをもって接することができ、様々な人々と協力できる人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校で学ぶ諸科目に関する高い基礎学力

看護学は人々の命と健康を支える学問である。自然科学（生物、また化学、物理も学んでおくと望ましい）と、人の営みの理解につながる人文・社会の幅広い知識を積極的に学び、入学後に学習する生命の構造や機能、疾患のメカニズム、薬物の作用などを理解していくための基礎的な学力を備えておくことが求められる。また、看護は多様な人々との連携・協働が大切となるため、他者とのコミュニケーション能力と語学力につながる国語と外国語の学習が求められる。

2. 他者の価値観を理解し、協力する姿勢

保健・医療・福祉の実践はチームで取り組むため、他者の価値観を理解し、協力して取り組む姿勢が求められる。また、他者の価値観や立場を理解しながら、自身の考えを適切に伝えることができる力の基礎として、考えを整理し表現する習慣を身につけておくことが望ましい。

3. 主体的・論理的に探究する学習習慣

看護専門職として生涯にわたり主体的に学習を継続することが重要である。疑問を解決するために自ら進んで調べ、理解できるまで学習に取り組む粘り強い姿勢と、知識を獲得し深めるための学習習慣、および知識を活用し論理的に考える習慣を身につけることが望ましい。

【入学者選抜の方針】

[一般選抜（前期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、国語、地理歴史・公民、数学、理科、および外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接（集団）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 3) 調査書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学、理科、および外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接（集団）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 3) 調査書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 地域の優秀な人材を育て、磨き、地域社会へ輩出することを目的として実施する。
- 2) 面接（個人）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 3) 調査書、推薦書及び志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 学力のみでは測ることのできない多様性を備えた学生の確保を目的として実施する。
- 2) 大学入学共通テストでは、数学および外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 3) 個別試験では、面接（個人）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 4) 調査書、推薦書及び志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[社会人選抜]

- 1) 個別試験として、面接（個人）と小論文を行う。面接（個人）では、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価する。小論文では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、論述することを求める。
- 2) 調査書、志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

保健医療学部臨床工学科

【求める学生像】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、本学科を成長の場としたいと願う次のような学生を求める。

(知識・技能)

1. 臨床工学を学ぶための理数系科目の基礎学力と、医療に関する高い学修意欲を有する人
(思考力・判断力・表現力)
2. 医療およびその関連分野の事象や課題を論理的にとらえ、それらに対する自分の考えを表現できる人
(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
3. 人の命に対して真摯に向き合い、病を抱える人の回復のために自らの持つ力を最大限に発揮して取り組もうとする人
4. 医療専門職の一員として、関連する医療職種を理解し、チーム医療や地域医療に貢献のできる資質を有する人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ諸科目の堅固な基礎学力
高等学校の教育課程で学ぶ理科と数学の知識は科学的な視点で事象を理解するために必要である。また、国語と英語の能力は、社会の様々な情報の収集、発信、および記述のために求められる。
2. 人間の生命や社会活動に関する事象を主体的・論理的に探究する姿勢
医療およびその関連領域において、課題に対処していくため、または知識を深めていくために、自ら知識を収集し道筋を立てて考える姿勢が求められる。
3. 他者の価値観を理解し、常に温かな配慮をもって他者と接する姿勢
医療・保健・福祉の分野では、各医療専門職の連携（チーム医療）が、高度化・細分化した医療を適切に提供するために求められている。このチーム医療の観点から、他者と協働して物事に取組む姿勢が重要となる。

【入学者選抜の方針】

[一般選抜（前期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学、理科、外国語、地理歴史・公民、および国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について論述することを求める小論文を課して、医療またはその関連分野を学ぶための論理的思考力と文章表現能力を評価する。また、面接試験を課して、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学、理科、および外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接試験を課して、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 地域の優秀な人材を育て、磨き、地域社会へ輩出することを目的として実施する。
- 2) 調査書、推薦書、志願理由書の出願書類審査、および面接試験により学習意欲や能力を総合的に判定する。
- 3) 面接試験では、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学および外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接試験を課して、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[社会人選抜]

- 1) 個別試験では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について論述することを求める小論文を課して、医療またはその関連分野を学ぶための論理的思考力と文章表現能力を評価する。また、面接試験を課して、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

国際文化交流学部国際文化交流学科

【求める学生像】

国際文化交流学科は国際的視野を身につけ、それを地域貢献に活かすことを目指す人文社会系の学科であり、本学科の教育理念及び教育目標に基づいて次のような学生を求める。

(知識・技能)

1. 高等学校の教育課程で学ぶ知識・技能を幅広く、かつ高いレベルで有している人
2. 異文化社会あるいは地域社会に常に関心を持ち、情報分析や外国語などのスキルを向上させる意欲をもつ人

(思考力・判断力・表現力)

3. 社会の様々な課題について、知識や情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できる人
4. 知的探究心を持って広く社会に目を向け、柔軟な発想で物事を捕らえることができる人
(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
5. 良心と社会規範に従って、良識ある行動をとることができる人
6. 人々との交流を大切に、常に温かな配慮を持って他者と接することができる人
7. 自らの成長のために粘り強く物事に取り組むことができる人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ諸科目に関する基礎学力
高等学校で履修する科目(大学入学共通テストで課している科目)について広く理解できていることを求める。
2. 他者とのコミュニケーションとリスペクト
異文化社会と関わっていくためのコミュニケーションの道具である言葉に関するスキルを磨くことはもちろん、自分と異なる「あたりまえ」に対するリスペクトを持つことは大切である。
3. 自分を取り巻く社会への関心
国際社会でいま起こっていること、あるいは自分の身近な地域が抱える問題などに日頃から関心を持って目を向ける習慣を身につけておくこと。

【入学者選抜の方針】

[一般選抜(前期日程)]

- 1) 大学入学共通テストでは、5教科(国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語)より5科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、小論文という方法によって、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に関心を持ち、自らの考えを明確にできるか
 - ・与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか

- ・英文を読んで適切に理解することができるか

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、5教科（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）より4科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、小論文という方法によって、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に興味を持ち、自らの考えを明確にできるか
 - ・与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 個人面接によって、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由書は、面接試験の参考にする。
- 2) 個別試験では、課題作文という方法によって、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に興味を持ち、自らの考えを明確にできるか
 - ・与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか
 - ・英文を読んで適切に理解することができるか

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 大学入学共通テストでは、3教科（国語、地理歴史・公民、英語）3科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個人面接によって、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由書は、面接試験の参考にする。
- 3) 個別試験では、課題作文という方法によって、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に興味を持ち、自らの考えを明確にできるか
 - ・与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか

2. 募集人員

学部学科	選抜区分と募集人員	
	前期日程	中期日程
生産システム科学部 生産システム科学科	40 人	20 人
保健医療学部 看護学科	30 人	8 人
保健医療学部 臨床工学科	17 人	5 人
国際文化交流学部 国際文化交流学科	35 人	25 人
合 計	122 人	58 人
大学入学共通テスト	課す	

(注) 1. 一般選抜は、前期日程及び公立大学中期日程（以下「中期日程」という。）で実施します。

2. 学校推薦型選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

3. 出願資格

次の①～③のいずれかに該当し、令和7年度大学入学共通テストにおいて、志願する学部学科が課す全ての教科・科目を受験した者

① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者

② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者

③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者(次のア～カのいずれかに該当する者。)

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者

ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者

エ 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和 7 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 7 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和 7 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

※ 上記出願資格「カ」により出願しようとする者は、出願に先立ち「16. お問い合わせ先」（37 ページ）まで照会してください。

4. 試験実施方式等

（1）入学者選抜方法

入学者の選抜は、令和 7 年度大学入学共通テスト並びに本学が行う個別試験及び調査書の審査の結果を総合して行います。（志願者の得点が合否ラインで同点となった場合に、調査書による「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」の評価を行い、その評価が高いと判断する志願者を優先的に合格とします。）

なお、大学入学共通テストの成績の複数年度利用は行いません。

- ① 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目、個別試験の詳細については、前期日程は、18～24 ページ、中期日程は 25～31 ページの各項目を参照してください。
- ② 大学入学共通テストで、志願する学部学科が課すすべての教科・科目（外国語の英語ではリスニングを含む。）を受験しなければ、個別試験を受験することはできません。また、個別試験で志願する学部学科が課すすべての教科・科目を受験しなければ、失格となります。

（2）併願

- ① 志願者は、本学で実施する前期日程と中期日程で同じ学部学科又は異なる学部学科に出願することができます。ただし、本学の前期日程に合格し、入学手続きを行った者は、中期日程を受験してもその合格者とはなりません。
- ② 他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く。）に合格し、入学手続きを行った者は、個別試験を受験しても合格者とはなりません。

※ 詳細は、公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/>）でご確認ください。

（3）大学入学共通テスト受験票の取扱いについて

大学入学共通テスト受験票は、個別試験の当日、必ず持参してください。また、入学手続きの際にも必要となりますので、個別試験の終了後も大切に保管してください。

5. 出願手続

インターネットを利用したWeb出願により手続きします。

「Web出願の流れ」(13~16ページ)を熟読の上、志願者情報の登録と入学検定料の納入を行い、Webから出力した書類や出身学校長が作成した書類を郵送して下さい。

(1) 出願期間

令和7年1月27日(月)~2月5日(水)午後5時 ※ 期間内必着

Web出願システムは、令和7年1月23日(木)から事前登録が可能です。

出願書類の提出は、郵送(書留速達郵便)のみとし、令和7年2月5日(水)午後5時必着とします。ただし、出願期間後に到着した出願書類のうち、令和7年2月4日(火)までの消印のある書留速達郵便に限り受理します。

(2) 入学検定料およびその支払い方法

入学検定料 17,000円

「Web出願の流れ STEP5 入学検定料の支払い」(15ページ)を参照してください。

【入学検定料の返還について】

一旦受領した入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還には応じません。

ア 入学検定料を支払ったが、本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合は、17,000円を返還します。

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合は、17,000円を返還します。

ウ 入学検定料を17,000円よりも多く払い込んだ場合は、多く払い込んだ額を返還します。

エ 出願受付後、本学が課す大学入学共通テスト受験科目の不足等により出願無資格者であることが判明した場合は、13,000円を返還します。

※ 上記「ア」~「エ」に該当する場合は、「16. お問い合わせ先」(37ページ)に記載された連絡先に、令和7年2月28日(金)までに連絡してください。本学から該当者に入学料返還手続書類を送付します。なお、領収書は、返還手続の際に必要なになりますので、各自で大切に保管してください。

(3) 郵送する出願書類

志願者は、以下の出願書類を一括して送付用宛名シートを貼付した角2封筒に入れ、出願期間内に書留速達郵便で郵送してください。 ※ 本学窓口への持込みでは受理しません。

なお、出願書類に不備がある場合は、受理しないことがありますので、郵送前に必ず確認してください。また、**出願書類の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても、入学を取り消すことがあります。**

※ 郵送された出願書類について、本学への到着の確認の問い合わせには応じません。日本郵便Webサイトの「郵便追跡サービス」により志願者本人が確認してください。

また、出願書類受理後はいかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更には応じません。

出願書類		摘 要
1	入学志願書	<p>入学検定料の支払い後、A4判の書類の印刷が可能となります。</p> <p>前期日程は「令和7共通テスト成績請求票前^前国公立前期日程用」（再交付を受けた場合は再交付された成績請求票）を、中期日程は「令和7共通テスト成績請求票公^中公立大学中期日程用」（再交付を受けた場合は再交付された成績請求票）を「入学志願書」の所定欄（前期日程と中期日程の両方を出願する場合は、それぞれ）にのり付けしてください。</p>
2	写真票	<p>入学検定料の支払い後、A4判の書類の印刷が可能となります。</p> <p>出願前3か月以内に、単身、無帽、無背景、および上半身正面で撮影した、鮮明な志願者本人画像をアップロードしてください。補正等を行った画像は使用しないでください。</p>
3	調査書	<p>文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>ただし、指導要録等の保存期間が経過して調査書が得られない者、高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定試験を含む。）の合格者、その他調査書を得られない者は「11. 調査書を提出できない者の取扱い」（33ページ）を参照してください。</p> <p>なお、調査書の氏名と現在の氏名が異なる場合、改姓・改名した旨を記した書面（戸籍抄本等）を提出してください。</p>
4	角2封筒 (1枚)	<p>出願書類の送付に必要となります。出願者が準備し、送付用宛名シートを貼り付けたものを郵送してください。</p>

(4) Web出願の流れ

Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP
1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
出願書類は、発行まで時間を要する場合があります。
早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

調査書
大学入学共通テスト成績請求票
(顔写真データ)

STEP
2

Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/komatsu-u/>
または、
大学ホームページ ▶ <https://www.komatsu-u.ac.jp/admission/>
からアクセス

STEP
3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録の方は **マイページ登録** からログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。

③ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。

④登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた「初期パスワード」にて **ログイン** をクリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。

⑧個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。
※出願受付中のみ、出願手続きを行う ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や注意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ

②選抜区分の選択と注意事項の
確認

③志願学部・学科の選択

④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。

⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力

⑥出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。

⑦申込登録完了
引き継ぎ支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。

⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合		ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合	
払込票番号 メモ(13桁)		お客様番号 メモ(11桁)	
		確認番号 メモ(6桁)	
デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合		収納機関番号 (5桁)	5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

STEP

5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

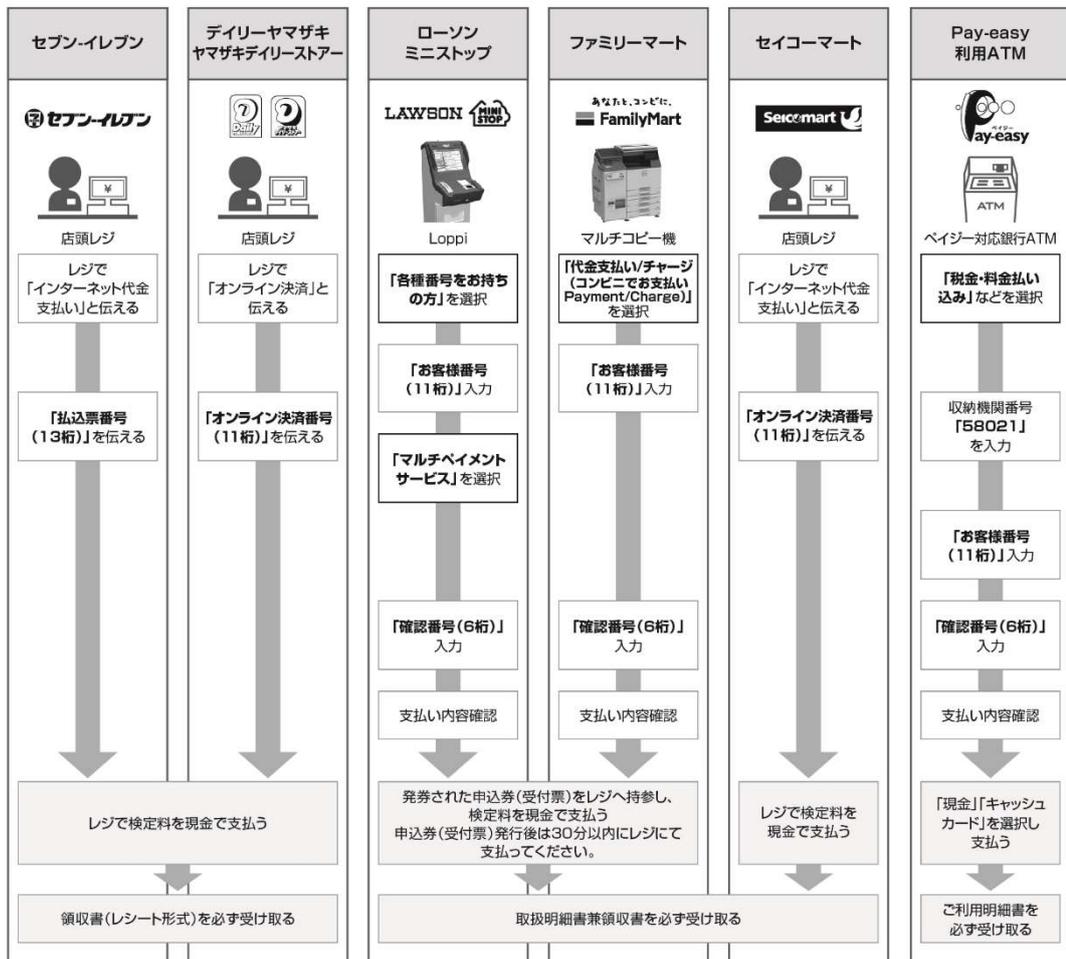


※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

4 銀行ATM



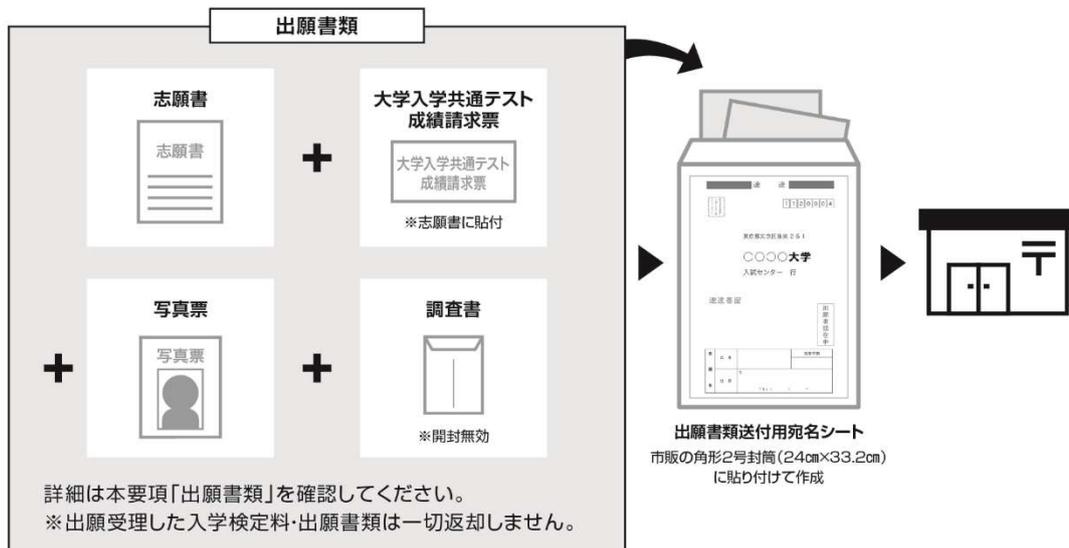
STEP

6

出願書類の印刷と郵送

登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「速達書留郵便」で郵送してください。※出願期間最終日の前日までの消印有効。



「Web志願票」の印刷方法



- マイページに表示された「**志願書(印刷)**」のボタンをクリックしてください。
- お支払いが正常に完了すると「**志願書(印刷)**」のボタンがクリックできるようになり志願書等の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。出願書類の郵送は出願期間最終日の17時必着です。ただし、出願期間最終日の前日までの消印有効です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

6. 受験票のダウンロード

(1) 受験票ダウンロード通知メール

Web出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信します。
通知後に、Web出願サイトからの受験票および受験上の注意等のダウンロードが可能になります。

個別試験の当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。

【通知メール送信日（予定）】

前期日程 令和7年2月14日（金）

中期日程 令和7年2月28日（金）

なお、通知メールが届かない場合であっても、出願が完了していれば、通知メール送信日以降に受験票をダウンロードすることができます。

通知メール送信日を過ぎても受験票をダウンロードできない場合や、ダウンロードした受験票の記載内容に誤りがある場合は、「16. お問い合わせ先」（37 ページ）に記載された連絡先に連絡してください。

(2) 受験票の保管

受験票は、個別試験の受験及び成績開示請求（35 ページ）の際に必要となりますので、大切に保管してください。

7. 前期日程

(1) 実施教科・科目

- ① 個別試験の「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」、「物理基礎・物理」の出題範囲については、次のとおりです。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」・・・それぞれの全範囲を出題範囲とします。

「数学B」・・・「数列」を出題範囲とします。

「数学C」・・・「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

「物理基礎・物理」・・・「物理基礎」及び「物理」の全範囲を出題範囲とします。

- ② 大学入学共通テストの科目について

大学入学共通テストで、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の成績を利用します。

ただし、「地理歴史、公民」の受験科目を1科目と指定した学科において2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。また、「理科」の受験科目を1科目と指定した学科において2科目受験している場合は、生産システム科学科を除き、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。

※ 大学入学共通テストの「地理歴史、公民」及び「理科」の試験時間において2科目を選択する場合、最初に受験した科目を第1解答科目、次に受験した科目を第2解答科目とします。

- ③ 大学入学共通テストで、志願する学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、個別試験を受験することはできません。

また、個別試験で、志願する学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格となります。

- ④ 各学科の教科・科目名が表示してある表の下の「大学入学共通テストの注意事項」も必ず参照してください。

【生産システム科学部 生産システム科学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名	配点	合計
大学入学共通テスト 〔5教科6科目〕	国語	『国語』	100点	750点
	地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 から1科目	50点	
	公民			
	数学	『数学Ⅰ・数学A』	200点 (100×2)	
		『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
	理科	『物理』	200点	
外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200点		
個別試験	数学	「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」・「数学Ⅲ」・「数学A」・「数学B」・「数学C」	100点	200点
	理科	「物理基礎」・「物理」	100点	
合 計				950点

大学入学共通テストの注意事項

- 「国語」は、素点200点満点を傾斜配点し、100点満点とします。
- 「地理歴史、公民」で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。
また、素点100点満点を傾斜配点し、50点満点とします。
- 「理科」は、『物理』の成績を利用するものとし、素点100点満点を傾斜配点し、200点満点とします。
- 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点100点満点を2倍した200点満点〕とリスニング〔素点100点満点を0.5倍した50点満点〕の合計点（250点満点）を傾斜配点し、200点満点とします。
なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点100点満点）を2倍した200点満点とします。

(前期日程)

【保健医療学部 看護学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名	配点	合計
大学入学共通テスト 〔5教科6科目〕	国語	『国語』	150点	650点
	地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1科目	100点	
	公民			
	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目	100点 (50×2)	
		『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目	100点	
外国語	『英語』(リスニングを含む。)	200点		
個別試験	その他	「面接(集団)」 医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価します。	100点	100点
合 計				750点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「国語」は、素点200点満点を傾斜配点し、150点満点とします。
2. 「地理歴史、公民」で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。
3. 「数学」は、2科目とも素点100点満点を傾斜配点で50点満点とし、合わせて100点満点とします。
4. 「理科」で2科目受験している場合は第1解答科目の成績を利用します。
5. 「外国語『英語』」は、リーディング[素点100点満点を2倍した200点満点]とリスニング[素点100点満点を0.5倍した50点満点]の合計点(250点満点)を傾斜配点し、200点満点とします。

なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング(素点100点満点)を2倍した200点満点とします。

【保健医療学部 臨床工学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名	配点	合計
大学入学共通テスト 〔5教科7科目〕	国語	『国語』	100点	800点
	地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、	100点	
	公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 から1科目		
	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目	200点 (100×2)	
		『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
	理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2科目	200点 (100×2)	
外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200点		
個別試験	その他	「小論文」 人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、論述することを求めます。	100点	200点
		「面接（集団）」 医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価します。	100点	
合 計				1,000点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「国語」は、素点200点満点を傾斜配点し、100点満点とします。
2. 「地理歴史、公民」で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。
3. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点100点満点を2倍した200点満点〕とリスニング〔素点100点満点を0.5倍した50点満点〕の合計点（250点満点）を傾斜配点し、200点満点とします。

なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点100点満点）を2倍した200点満点とします。

(前期日程)

【国際文化交流学部 国際文化交流学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名	配点	合計
大学入学共通テスト 〔4教科5科目〕又は〔5教科5科目〕	国語	『国語』	200点	750点
	地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 から2科目	200点 (100×2)	
	公民			
	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目	100点	
	理科			
外国語	『英語』（リスニングを含む。）	250点		
個別試験	その他	「小論文」 社会、歴史、文化、言葉等に関する英語と日本語の文章を一つずつ提示し、それぞれについて文章理解に基づき日本語で論述をさせます。	250点	250点
合 計				1,000点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「数学」、「理科」において、「理科」で2科目受験している場合は第1解答科目及び「数学」のうち、最高得点の成績を利用します。
2. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点100点満点を2倍した200点満点〕とリスニング〔素点100点満点を0.5倍した50点満点〕の合計点（250点満点）を利用します。

なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点100点満点）を2.5倍した250点満点とします。

(2) 採点・評価基準 (個別試験)

学部学科	教科・科目	採点・評価基準
生産システム科学部 生産システム科学科	数 学	問題についての理解力と正解に至るまでの考え方およびそれを表現する力を評価します。
	物 理	物理の基本概念の理解度と応用力を評価します。
保健医療学部 看護学科	面 接	医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価します。
保健医療学部 臨床工学科	小論文	論理的思考力と文章による表現力を評価します。
	面 接	医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価します。
国際文化交流学部 国際文化交流学科	小論文	英語・日本語の理解力、日本語の表現力、論理的思考力等を総合的に判断します。

(3) 試験日・試験時間・試験場

学部学科	試験日・試験時間	試験場
生産システム科学部 生産システム科学科	令和7年2月25日(火) (数学) 10:00~11:30 (物理) 13:00~14:40	栗津キャンパス 名古屋 河合塾名駅校※
	保健医療学部 看護学科	令和7年2月25日(火) (面接) 9:00~
保健医療学部 臨床工学科	令和7年2月25日(火) (小論文) 10:00~11:00 (面接) 12:30~	中央キャンパス
国際文化交流学部 国際文化交流学科	令和7年2月25日(火) (小論文) 9:30~11:30	サイエンスヒルズこまつ

※生産システム科学科の受験を希望する者はWeb出願サイトで希望する試験場を必ず選択してください。また、名古屋 河合塾名駅校は先着順で決定するものとし、定員を超えた場合は栗津キャンパスでの受験となります。

- ① 試験場は、上表のとおり予定しています。ただし、志願者数によっては試験場を変更することがあります。その場合は、ホームページ等で変更内容を通知します。
- ② 試験場の下見への対応として、令和7年2月24日(月)午後1時以降に試験場入口に試験室案内等を掲示します。
- ③ 風雪害等による交通機関の遅延を考慮し、時間に十分余裕をもって試験場にお越しください。
- ④ 保健医療学部看護学科の試験場については、中央キャンパスからシャトルバスを運行します。詳細は、後日、本学ホームページにてお知らせします。

(前期日程)

(4) 合格発表

合格者の受験番号を本学ホームページに公表します。また、合否照会システムにより合否結果を確認することができます。合格者には「合格通知書」を送付します。

【発表日時】 令和7年3月6日(木) 午前10時(予定)

【発表場所】 公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/admission>

合否照会システム <https://www.gouhi.com/komatsu-u/>

※ キャンパス内掲示は行いません。また、電話による合否の照会には応じません。

(5) 入学手続

「合格通知書」に同封する「入学手続要項」を参照してください。

【手続期間】 令和7年3月6日(木)～3月15日(土) 午後5時まで ※期間内必着

※ 本学窓口への持込みは、令和7年3月15日(土) 午前9時～午後5時のみ対応

(6) 留意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。
- ② 「前期日程」に合格し、令和7年3月15日(土)までに入学手続を行った者は、「中期日程」を受験してもその合格者とはなりません。また、本学に入学手続きを行った者は、それ以降にこれを取り消して他の国公立大学に入学手続きをすることはできません。
- ③ 入学時に必要な経費等は、「15. 初年度学納金等(予定)」(37ページ)を参照してください。

8. 中期日程

(1) 実施教科・科目

- ① 個別試験の「物理基礎・物理」の出題範囲については、次のとおりです。
「物理基礎・物理」・・・「物理基礎」及び「物理」の全範囲を出題範囲とします。
- ② 大学入学共通テストの科目について
大学入学共通テストで、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の成績を利用します。
ただし、「地理歴史、公民」の受験科目を1科目と指定した学科において2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。また、「理科」の受験科目を1科目と指定した学科において2科目受験している場合は、生産システム科学科を除き、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。
※ 大学入学共通テストの「地理歴史、公民」及び「理科」の試験時間において2科目を選択する場合、最初に受験した科目を第1解答科目、次に受験した科目を第2解答科目とします。
- ③ 大学入学共通テストで、志願する学科が課すすべての教科・科目を受験しなければ、個別試験を受験することはできません。
また、個別試験で、志願する学科が課すすべての教科・科目を受験しなければ失格となります。
- ④ 各学科の教科・科目名が表示してある表の下の「大学入学共通テストの注意事項」も必ず参照してください。

(中期日程)

【生産システム科学部 生産システム科学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名	配点	合計
大学入学共通テスト 〔3教科4科目〕	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目	200点 (100×2)	500点
		『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
	理科	『物理』	100点	
	外国語	『英語』(リスニングを含む。)	200点	
個別試験	理科	「物理基礎」・「物理」	400点	400点
合 計				900点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点100点満点を2倍した200点満点〕とリスニング〔素点100点満点を0.5倍した50点満点〕の合計点(250点満点)を傾斜配点し、200点満点とします。

なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング(素点100点満点)を2倍した200点満点とします。

【保健医療学部 看護学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名	配点	合計
大学入学共通テスト 〔3教科4科目〕	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目	100点 (50×2)	400点
		『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目	100点	
	外国語	『英語』(リスニングを含む。)	200点	
個別試験	その他	「面接(集団)」 医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価します。	200点	200点
合 計				600点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「数学」は、2科目とも素点100点満点を傾斜配点で50点満点とし、合わせて100点満点とします。
2. 「理科」で2科目受験している場合は第1解答科目の成績を利用します。
3. 「外国語『英語』」は、リーディング[素点100点満点を2倍した200点満点]とリスニング[素点100点満点を0.5倍した50点満点]の合計点(250点満点)を傾斜配点し、200点満点とします。

なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング(素点100点満点)を2倍した200点満点とします。

(中期日程)

【保健医療学部 臨床工学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名	配点	合計
大学入学共通テスト 〔3教科5科目〕	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目	200点 (100×2)	600点
		『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
	理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2科目	200点 (100×2)	
	外国語	『英語』(リスニングを含む。)	200点	
個別試験	その他	「面接(個人)」 医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価します。	200点	200点
合 計				800点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「外国語『英語』」は、リーディング[素点100点満点を2倍した200点満点]とリスニング[素点100点満点を0.5倍した50点満点]の合計点(250点満点)を傾斜配点し、200点満点とします。
なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング(素点100点満点)を2倍した200点満点とします。

【国際文化交流学部 国際文化交流学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名	配点	合計
大学入学共通テスト 〔4教科4科目〕	国語	『国語』	150点	600点
	地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2教科2科目	200点 (100×2)	
	公民			
	数学			
	理科			
外国語	『英語』(リスニングを含む。)	250点		
個別試験	その他	「小論文」 社会、歴史、文化、言葉等に関する日本語の文章を2つ提示し、それぞれについて文章理解に基づき日本語で論述をさせます。	300点	300点
合 計				900点

大学入学共通テストの注意事項

- 「国語」は、素点200点満点を傾斜配点し、150点満点とします。
- 「地理歴史、公民、数学、理科」については、当該教科の中から得点上位の2教科2科目の成績を利用します。ただし、次の点にご注意ください。
 - 「地理歴史、公民」において2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。
 - 「理科」で2科目受験している場合は第1解答科目の成績を利用します。
- 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点100点満点を2倍した200点満点〕とリスニング〔素点100点満点を0.5倍した50点満点〕の合計点(250点満点)です。

なお、「外国語『英語』」において、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の「英語」は、リーディング(素点100点満点)を2.5倍した250点満点とします。

(中期日程)

(2) 採点・評価基準 (個別試験)

学部学科	教科・科目	採点・評価基準
生産システム科学部 生産システム科学科	物 理	物理の問題を出題し、基本概念の理解度と応用力を評価します。
保健医療学部 看護学科	面 接	医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価します。
保健医療学部 臨床工学科	面 接	医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価します。
国際文化交流学部 国際文化交流学科	小論文	日本語の理解力と表現力、論理的思考力等を総合的に判断します。

(3) 試験日・試験時間・試験場

学部学科	試験日・試験時間	試験場
生産システム科学部 生産システム科学科	令和7年3月10日(月) (物理) 10:00~11:40	栗津キャンパス
保健医療学部 看護学科	令和7年3月10日(月) (面接) 9:00~	末広キャンパス
保健医療学部 臨床工学科	令和7年3月10日(月) (面接) 9:00~	中央キャンパス
国際文化交流学部 国際文化交流学科	令和7年3月10日(月) (小論文) 9:30~11:30	サイエンスヒルズこまつ

- ① 試験場は、上表のとおり予定しています。ただし、志願者数によっては試験場を変更することがあります。その場合は、ホームページ等で変更内容を通知します。
- ② 試験場の下見への対応として、令和7年3月9日(日)午後1時以降に試験場入口に試験室案内等を掲示します。
- ③ 風雪害等による交通機関の遅延を考慮し、時間に十分余裕をもって試験場にお越しください。
- ④ 保健医療学部看護学科の試験場については、中央キャンパスからシャトルバスを運行します。詳細は、後日、本学ホームページにてお知らせします。

(4) 合格発表

合格者の受験番号を本学ホームページに公表します。また、合否照会システムにより合否結果を確認することができます。合格者には「合格通知書」を送付します。

【発表日時】 令和7年3月21日(金) 午前10時(予定)

【発表場所】 公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/admission>

合否照会システム <https://www.gouhi.com/komatsu-u/>

※ キャンパス内掲示は行いません。また、電話による合否の照会には応じません。

(5) 入学手続

「合格通知書」に同封する「入学手続要項」を参照してください。

【手続期間】 令和7年3月21日(金)～3月27日(木) ※期間内必着

※ 本学窓口への持込みは、令和7年3月27日(木) 午前9時～午後5時のみ対応

(6) 留意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。
- ② 他の国公立大学に入学手続きを行った者は、これを取り消して本学に入学手続きをすることはできません。
- ③ 入学時に必要な経費等は、「15. 初年度学納金等(予定)」(37ページ)を参照してください。

9. 旧教育課程履修者に対する経過措置について

大学入学共通テストにおいて、旧教育課程履修者は経過措置科目を選択することができます。

詳細に関しては、本学ホームページ(本学ホームページ トップ>入試情報>入学者選抜方法等の変更)または入学者選抜要項において確認してください。

10. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合の事前相談

本学に入学を志願する者で、身体に障がい等があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に本学に事前相談書等を提出し、相談してください。

(1) 提出書類

本学所定の事前相談書様式(本学ホームページ トップ>入試情報>学生募集要項)をダウンロードしてください。参考となる書類がある場合はそれらを添付してください。

(2) 相談締切日

令和7年1月10日(金)

(3) 受験および修学上の配慮の実績

別室受験、試験時間の延長、トイレに近い試験室での受験、杖の使用、補聴器の装着

(4) 相談先および提出先

公立小松大学 学生課入試係

〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10

電話：0761-23-6610

※ 月曜日から金曜日(祝日を除く。)の午前9時から午後5時まで

E-mail：nyushi@komatsu-u.ac.jp

11. 調査書を提出できない者の取扱い

(1) 高等学校(特別支援学校の高等学部を含む。)又は中等教育学校を卒業した者

指導要録等の保存期間が経過した者、又は廃校・被災その他の事情により調査書を得られない場合は、次の書類を提出してください。

① 卒業後5年を経過した場合

卒業証明書及び各教科・科目の修得単位を証明する書類(単位修得証明書等)

② 卒業後20年を経過した場合

卒業証明書、成績通信簿(原本)、その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類。これらの書類が提出できない場合は、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書

③ 廃校・被災その他の事情により調査書を得られない場合

卒業証明書、成績通信簿(原本)、その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類及び出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書

※ 成績通信簿(原本)を提出する場合は、後日返却します。

(2) その他の者

① 高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定試験を含む。)の合格者は、合格した科目の成績が記載された合格成績証明書を調査書に代えてください。なお、高等学校等において科目を修得したことにより、高等学校卒業程度認定の受験科目(大学入学資格検定試験の科目を含む。)を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の成績証明書又は調査書(出身高等学校長が作成し、厳封したもの。)を併せて提出してください。

② 高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えてください。

③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものについて、教育課程等を修了(見込み)の者にあつては当該課程の修了(見込み)を証明する書類及び成績証明書を、検定等に合格した者にあつては合格証書の写し及び成績証明書を提出してください。

④ 国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、フランス共和国のバカロレア資格取得者は、資格証書の写し及び成績証明書を提出してください。

⑤ 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者は、修了(見込み)証明書及び成績証明書を提出してください。

⑥ 本学の個別の入学資格審査を受けて認定された者は、「公立小松大学入学資格認定書」の写しを提出してください。

12. 欠員補充の方法

(1) 追加合格

入学手続の結果、欠員が生じた場合は、令和7年3月28日（金）以降に「追加合格」を通知することがあります。

追加合格の通知の際には、入学志願書の「通知等を受ける場所」に記載の自宅または携帯の電話番号へ連絡し、本人に入学意思の有無を直接確認します。不在にする場合も必ず連絡がとれるようにしておいてください。候補者への最初の電話から、概ね60分を経過しても本人と直接連絡が取れない場合は合格となりません。

また、他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く。）に入学手続を完了した者は、それを取り消して、本学の入学手続を行うことはできません。

(2) 欠員補充のための第2次募集

欠員補充のための第2次募集を行うことがあります。実施する場合は、本学ホームページ (<https://www.komatsu-u.ac.jp/>) に掲載するとともに報道機関を通じて公表します。

13. 個人情報の取扱い

本学では、個人情報保護法及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜に用いた試験成績及び入学手続時に提出いただく身上書等の書類に記載されているすべての個人情報は、次の業務で利用します。

- ① 入学者選抜及び入学手続に関わる業務
- ② 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- ③ 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- ④ 入学料減免、授業料減免、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- ⑤ 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- ⑥ 入学者選抜方法等における調査研究、分析業務
- ⑦ 卒業（修了）生に対する学習成果等調査、同窓会活動への支援等に関する業務
- ⑧ その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

また、本学の入学者選抜の合否及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る。）を、独立行政法人大学入試センターを通じて併願先の国公立大学に送達します。

なお、上記業務での利用に当たっては一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者において行うことがあります。

14. 選抜試験情報の公表

(1) 令和7年度入学者選抜試験に関する情報の公表

下記の2つの情報を本学ホームページ (<https://www.komatsu-u.ac.jp/>) で公表します。

- ① 出願状況
出願期間終了後に、学部学科別に公表します。
- ② 実施結果
令和7年5月以降に公表します。

(2) 令和7年度入学者選抜試験の個人成績の開示

受験者本人からの成績開示請求を受けて、不合格者に限り開示します。請求期間等に関する詳細は、下記のとおりです。

- ① 開示請求期間
令和7年5月1日(木)～5月30日(金)※ 期間内必着
※ 請求書類は、郵送のみ受け付けます。
- ② 請求方法
下記の書類を請求先まで郵送してください。
ア 本学所定の成績開示請求書
請求書の様式は次ページのとおりです。また、前期日程と中期日程の成績の両方を請求する場合は、各日程の請求書を提出してください。
イ 成績開示請求する選抜区分の受験票
ウ 返信用封筒(長形3号:120mm×235mm) 1枚
460円分(簡易書留料金含む。)の切手を貼付し、受験者に確実に届く住所を明記してください。
- ③ 開示内容
本学が実施した個別試験の科目ごとの得点

(3) 開示時期

開示請求受理後、1か月を目安とします。

(4) 請求先

公立小松大学 学生課入試係
〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10

(様式)

成績開示請求書

公立小松大学長 様

下記の通り、令和7年度公立小松大学入学者選抜試験（一般選抜）の成績開示を請求します。

記

申請日	令和 年 月 日	
選抜区分 ※ いずれかに○	前期日程 ・ 中期日程	
受験学部・学科	学部	学科
本学の受験番号		
フリガナ		
氏名		
住所	出願時	〒 -
	現在	〒 -
電話番号	()	

- (注)1. 前期日程と中期日程の両方を請求する場合は、各日程の請求書を作成してください。
2. 開示請求受理後、1か月を目安に返信用封筒を使用し、本学受験票とともに送付します。

15. 初年度学納金等（予定）

（1）入学料^{※1}

市内者 ^{※2}	282,000 円
その他	423,000 円

※1 納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。

※2 「市内者」とは、「入学者本人又は保護者^{※3}が、入学前年の4月1日以前から引き続き、小松市内に住民登録がある者」を指します。

※3 保護者とは、父母又は主たる生計維持者を指します。

（2）授業料

年間 585,800 円

（3）その他

① 実習費

年間 50,000 円（教育実習費：生産システム科学部及び保健医療学部）

実習費は、教育研究のための研究設備や実験、実習のための経費の一部となります。

実習衣、教科書代等は含まれていません。

② 保護者会費

20,000 円（年会費 5,000 円/年を4年間分一括納入となります。）

③ 同窓会費

10,000 円

④ ノート型パソコンの準備について

講義で使用するノート型パソコンを、授業開始時までに自費で準備していただきます。

詳細は、合格者に送付する入学手続要項で確認してください。

16. お問い合わせ先

月曜日から金曜日（祝日を除く。）の午前9時から午後5時の間に下記までお問い合わせください。

公立小松大学 学生課入試係

〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10（中央キャンパス）

電話：0761-23-6610 E-mail：nyushi@komatsu-u.ac.jp

【不測の事態が発生した場合の情報提供について】

不測の事態により試験時間等を変更する場合は、本学ホームページ (<https://www.komatsu-u.ac.jp/>) に随時情報を掲載しますので、受験直前は特に注意して確認してください。

17. 試験場所在地略図

(1) 公立小松大学 中央キャンパス

【所在地】 〒923-0921 石川県小松市土居原町 10 番地 10

【アクセス】 小松駅から徒歩約 1 分

【実施学部学科】 (前期日程) 保健医療学部 臨床工学科
(中期日程) 保健医療学部 臨床工学科

(2) 公立小松大学 末広キャンパス

【所在地】 〒923-0961 石川県小松市向本折町へ 14 番地 1

【アクセス】 小松駅から路線バスで「市民病院」下車 (所要時間約 7 分)、
徒歩約 3 分、または小松駅から徒歩約 23 分

【実施学部学科】 (前期日程) 保健医療学部 看護学科
(中期日程) 保健医療学部 看護学科

(3) サイエンスヒルズこまつ

【所在地】 〒923-0869 石川県小松市こまつの杜 2 番地

【アクセス】 小松駅東口より徒歩 3 分

【実施学部学科】 (前期日程) 国際文化交流学部 国際文化交流学科
(中期日程) 国際文化交流学部 国際文化交流学科



(4) 公立小松大学 栗津キャンパス

【所在地】 〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3

【アクセス】 栗津駅から徒歩約12分

【実施学部学科】 (前期日程) 生産システム科学部 生産システム科学科
(中期日程) 生産システム科学部 生産システム科学科



(5) 名古屋 河合塾名古屋校

【所在地】 〒453-0015 愛知県名古屋市中村区椿町1-12

【アクセス】 JR名古屋駅太閤通口から徒歩3分

名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅・地下鉄名古屋駅から徒歩6分

【実施学部学科】 (前期日程) 生産システム科学部 生産システム科学科

